

講演テーマ 「光と色にまつわる2つの話題」

講師 鈴木卓治先生

- 日時 2016年6月15日(水)
- 場所 コリサーチ株式会社地下ホール
- 参加人数 15名
- 担当幹事 セリック株式会社 佐藤郁夫



鈴木卓治先生 経歴

所属：大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 研究部 准教授

1965年生。滋賀県出身。1994年電気通信大学大学院電気通信学研究科情報工学専攻博士二期課程単位取得退学。同年大学共同利用機関国立歴史民俗博物館情報資料研究部助手に採用。2007年准教授。現在に至る。博士(学術)(千葉大学、2015年)。

専門分野はソフトウェア学、色彩と画像の数理。主な研究テーマは博物館における研究・展示・広報を支援するシステムの研究、とくにネットワーク、データベース、色彩と画像の情報処理に興味をもつ。国立歴史民俗博物館の常設展示・企画展示で使用されるデジタルコンテンツの開発を多く手がける。

日本色彩学会、情報処理学会、情報知識学会、日本ソフトウェア科学会、各会員。日本色彩学会代議員(関東支部選出)。同学会画像色彩研究会主査。

第327回オプトフォーラムは国立歴史民俗博物館研究部准教授の鈴木卓治先生をお招きして、「光と色にまつわる2つの話題」というタイトルでご講演を頂きました。

前半は「デジタルカメラで調べる錦絵の色」。文化財のデジタル画像による保存、色の補正のご苦労から分析、分析による歴史的背景の検証など、多岐にわたる盛りだくさんの内容で大変ためになるお話を伺いました。

小休止をはさんで後半は「黄色LED信号の色の見え」。色覚異常または障害の方の色の見え方を新しい切り口で解き明かす手法がとても斬新で、こちらも興味深い内容でした。

終了後、新中野駅前の四川料理「なる」にて懇親会を行いました。硬軟入り乱れ大変に盛り上がり、時の経つのも忘れて大いに語りました。

鈴木先生並びに関係者の方々、ありがとうございました。

(担当幹事 佐藤郁夫)



懇親会 四川中華「なる」

